

2020年度第2回 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	京都大学人間・環境学研究科	助成金額	20万円
氏名	スコルシ ワナ ロレダナ		
研究や活動等のテーマ（申請書に記入した内容を記入すること。）			
SDGsの重要性を実感する方法としての異文化交流から国際社会への意識改革			
助成金の使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）			
<p>昨年は、明治時代における日本庭園論について博論を執筆しながら、甲南大学で非常勤講師をしていた。甲南大学で教えている科目の中で、個人的に趣味を持っているSDGsを主題とするGlobal Challenges（国際的課題）の授業がある。助成金を申請したのは、別のパートタイムの仕事をせずに、博論の執筆を続けながら、SDGsについての研究ができるためであった。一般財団法人 財団せせらぎに、2021年度後期の学費の殆ど全額を負担していただいたおかげで、博論の為の研究とSDGsの研究の両方とも進行させることができた。以下に、この二つの研究の発展を詳しく説明する。</p> <p>SDGsに関しては、助成金を申請した際に、複数のSDGsについて、そして社会、経済、環境の三分野をまたがる観点からブログを英語と日本語の二カ国語で書く企画を立てた。去年Global Challengesを教えながら学生の多くは、温暖化、不平等、貧困など、SDGsが解決しようとしている世界的な課題が発展途上国の問題であり、日本とあまり関係がないように思い込んでいることに気づいた。このことを念頭に置いて、SDGsのブログを、日本における国際的な課題について書くことにした。実践に関しては、助成金の申請の時は、大学の授業がない期間にブログを書く予定を立てたが、今年の春休みにブログを始めることになり、子供の貧困、男女雇用不平等、温暖化の影響等の課題が日本においてどんな形であらわれるのかを調べて英語、日本語とルーマニア語の三カ国語で書いてきた。このブログを書く間にわかってきたことを、今後のGlobal Challengesの授業で使用し、学生に国際的課題と日本の関係をよりよく理解してもらいたい。こうすることで、自分を国際社会の人間として意識改革し、それと同時にSDGsの重要性を実感し、その達成への危機感を抱くようになることが期待できる。</p> <p>博論のための研究に関しては、去年二本の投稿論文が採用された。8月に造園学会の『ランドスケープ研究（オンライン論文集）』へ投稿した「日本庭園史の始まりとしての横井時冬による『園芸考』についての考察」がインターネットで公開されており、以下にそのURLを記載する。そして、10月に比較文化学会の『比較文化研究』に「明治前半における園芸と造園の関係についての研究：園芸とホルティカルチャーとの比較を手掛かりに」が掲載された。去年研究が進んだ結果として、博論の構成が一步改善された。現時点では、第一章は、『比較文化研究』に掲載された論文をもとにし、造園や園芸の分野の発祥と発展を主題としている。第二章は、『ランドスケープ研究（オンライン論文集）』に掲載された論文をもとにし、『園芸考』と日本庭園史の始まりを中心としている。現在書いている第三章では、2018年に『Dimitrie Cantemir 大学外国語外国文学部紀要』へ投稿した「The Influence of the English Landscape Garden on the Meiji Stroll Garden: between Fact and Speculation」を発展させ、明治時代に書かれた造園書における日本庭園の自然性と西洋の庭園との関係を探っている。そして今年中に「西洋と日本の間で誕生する日本近代的な造園論」の題目で博論を提出する予定である。今年から甲南大学で日本庭園史についての授業を教えることになったが、この授業は日本庭園の変遷を改めて整理し、明確に説明する方法を熟考するきっかけになった。</p>			
助成金の使用金額及び用途			
2021年度後期の学費（残りは自費） → 20万			
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合はURLを記載すること。）			
<p>SDGsについてのブログ → https://ameblo.jp/5432-21/entrylist.html</p> <p>日本造園学会の『ランドスケープ研究（オンライン論文集）』における「日本庭園史の始まりとしての横井時冬による『園芸考』についての考察」（2021年8月）本文公開 → https://www.jstage.jst.go.jp/article/jilaonline/14/0/14_85/article-char/ja/</p> <p>日本比較文化学会の『比較文化研究』における「明治前半における園芸と造園の関係についての研究：園芸とホルティカルチャーとの比較を手掛かりに」（2021年10月）本文公開なし → https://ci.nii.ac.jp/naid/40022744843</p>			